

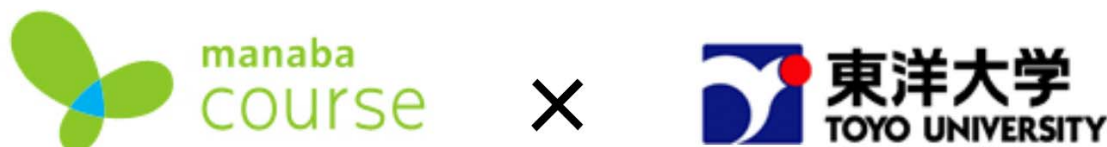
2010年 2月9日
株式会社朝日ネット

Press Release

東洋大学に 教育機関向けSNS「manaba course（マナバ コース）」を全学導入

株式会社朝日ネット（東証一部、本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本公哉）は、東洋大学に、教育機関向けSNS「manaba course（マナバ コース）」を全学導入いたしました。

東洋大学では、授業を補完するためのICTツールとして「manaba course（マナバ コース）」を全学部・全大学院の学生（約3万名）に提供し、予習や復習などのコミュニケーションツールとして授業を側面から支援していきます。「manaba course（マナバ コース）」は、従来の授業支援システムに比べ、必要な機能に絞ったシンプルなインターフェイスになっており、使い勝手がよく、マニュアルを読まなくても教員・学生共に簡単に利用できるという点で採用されました。



教育機関向けSNS「manaba course（マナバ コース）」とは？

「manaba course（マナバ コース）」は、大学などの大型教育機関における学生と教員との情報伝達をサポートするSNS（Social Networking Service）です。manaba（マナバ）という名称は、「学び（manabi）」の「場（ba）」であるというイメージをもとに考えられた造語です。

多機能追求で小規模運用中心の従来型教育支援ツールが、導入後の活用範囲が限定されている現状に鑑み、マナバは扱いやすさを追求して、小規模から全学まで、あらゆる要求に応えられる製品となっております。

「manaba course（マナバ コース）」を利用する教員は、担当講義に対応するコミュニティを「manaba course（マナバ コース）」上に作成し、ブログ感覚で「教科書」となるコンテンツを作成、更新できます。コンテンツと連携した掲示板は、教員と学生、あるいは学生同士のコミュニケーションを促進します。加えて、テスト、アンケート、レポートなどの課題出題機能、成績管理機能を備えております。

「manaba course(マナバ コース)」導入の背景と目的

「manaba course(マナバ コース)」によって実現される授業支援:

東洋大学では教育支援システムは対面授業の代わりを目指すものではなく、授業を補完するための ICT ツールであるという理念の下に、誰でも簡単に使える製品を模索してきました。様々な企業の製品を比較・検討していく中で、「manaba course(マナバ コース)」は、シンプルで簡単という特徴があり、まさに誰でも簡単に使える製品であるという点が評価され、全学導入に至りました。4年間を通じて、授業・予習・復習の学習サイクルを徹底することにより、学生の学習意欲を育成し、同時にコミュニケーション能力、問題解決能力等を培うことにより、従来の大規模大学にはない学生・教職員が一体となった主体的な学びを実践することを目的としています。従来利用していた教育支援システムに比べ、簡単で誰でも利用できるという点を活用し、大学全体での利用率を向上させ、学生の満足度や学士力の向上を目指します。

東洋大学 概要

学校名: 東洋大学

URL: <http://www.toyo.ac.jp/>

設立: 明治 20(1887)年

学長: 竹村 牧男

所在地: 東京都文京区白山 5-28-20

学生数: 28,998 人(2009 年 7 月 14 日現在)

特色:

東洋大学は、明治 20 年に井上円了博士が「私立哲学館」として創設した、120 余年の伝統を持つ総合大学です。建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」に象徴される創立者の教えは、主体的に生き、自らの「ものの見方・考え方」を確立するための実践的哲学を目指したものです。総合大学として日々進化を遂げながらも「哲学」を理念とする唯一の大学として、その理念を大切に守り続けています。

現在は、5 つのキャンパスにおいて、10 学部 44 学科が 4 年間で同一キャンパスで学ぶ一貫教育を行っています。平成 21 年 4 月には、学部教育にかかわる「5 つの改革」を行い、次世代の「自然・いのち・他者との共生の実現」を目指した教育改革を実施。最先端研究を担う教育研究機関として個性ある研究拠点づくりと高度職業人の育成に力を注いでいます。

平成 24 年に迎える創立 125 周年に向け、さらなる建学の精神の継承と共有をはかり、教育研究の発展に尽力しています。

